

案件概要書

2016 年 2 月 23 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ブータン王国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ティンブー市、モンガル県、サルパン県
- (3) 案件名：国立病院及び地域中核病院における医療機材整備計画（The Project for Improvement of Medical Equipment at the National and Regional Referral Hospitals）
- (4) 事業の要約：本事業は、ティンブー市国立総合病院、モンガル県及びサルパン県地域中核病院において CT 検査装置等の医療機材を整備することにより、各病院の診断機能強化及び地方部の医療サービスへのアクセス向上を図り、もって地方部の生活改善を通じたブータンの持続可能な経済成長に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における保健医療セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
ブータン王国では、2006 年にインド政府の支援を得て、初めてコンピュータ断層撮影法検査（以下、「CT 検査」という。）装置 1 台がティンブー市にある国立総合病院に設置され、診断が実施されてきた。しかし、CT 検査を必要とする患者数（脳卒中、外傷、がん等）が増加傾向にあり、検査数が 2008 年の 1,593 件から 2014 年には 3,268 件と増加している。更には、2013 年及び 2014 年の直近 2 年間で計 12 回の機材故障が発生していることから、患者に対して CT 検査を適時実施することができず、早期の診断・治療に支障を来している。

また、国立総合病院で CT 検査等を受ける外来患者の大半が中部及び東部の地域中核病院からの紹介であるが、病院到着までに数日を要することも多く、診断の遅れが課題となっている。加えて、地方部では交通費等を捻出することが困難な患者もあり、地域中核病院での迅速な診断及び治療サービスが必要とされている。

ブータン政府の「第 11 次 5 か年計画（2013 年～2018 年）」においても、「質の高い保健サービスへのより良いかつ平等なアクセスの提供」が掲げられ、重点戦略として地方レベルでの医療人材育成・組織強化を挙げている。また、具体的な施策として、地域中核病院における CT 検査や内視鏡検査のための機材整備が計画されている。国立病院及び地域中核病院における医療機材整備計画（以下、「本事業」という。）は、対象となる首都及び地方部の中核拠点病院において CT 検査装置を含む医療機材を整備することにより、地域住民の医療サービスへのアクセス改善を図るものであり、上記計画の一部として位置付けられている。

- (2) 保健医療セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

対ブータン王国国別援助方針の重点分野の一つ「持続可能な経済成長」の下に、開発課題「地方部の生活改善」が掲げられ、都市と農村の社会的格差緩和のための基礎社会サービス向上や基礎インフラ整備が定められており、本事業は同方針と合致する。

- (3) 他の援助機関の対応

世界保健機関が保健省に対し、保健システム強化、非感染性疾患対策等重点 6 分野を定め能力強化を行っている。また、国際連合児童基金は国連人口基金及び世界保健機構と協働で保健省のリプロダクティブヘルス・ポリシーの基盤整備や、予防接種に係るマニュアル作成及びワクチン等の調達、栄養に係る支援等を行っている。本事業と他の援助機関による事業内容の重複はない。

(4) 本事業を実施する意義

ブータンは保健医療サービスの質及びアクセス向上を目指しているが、CT 検査装置やその他医療機材の老朽化、不足による必要な診断サービスが提供されないことに加えて、地方患者は診断のためにティンブー市まで山岳地帯を多大な身体的及び経済的困難を伴いながら移動している状況であり、各地域拠点病院の診断機能強化は人命に関わる死活的な問題となっていることから、無償資金協力として本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

なお、ブータンは所得水準が相対的に高い国であることから、「所得水準が相対的に高い国に対する無償資金協力の効果的な活用について」に基づき、無償資金協力の供与の適否について精査が必要である。

ブータンは、医療分野の改善を重視し、保健医療サービスの質及びアクセス向上を目指しているが、国土のほとんどが山岳地帯にあるため、同国において各地域拠点病院の診断機能を強化することは、人命に関わる死活的な問題であり、人間の安全保障の観点から、個人の尊厳、生命、生活に対する脅威への対応が必要である（「人道上のニーズ」）。

したがって、本事業は、上記の観点を満たすものであり、無償資金協力の供与が適当と判断できる。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本事業は、ティンブー市国立総合病院、モンガル県及びサルパン県地域中核病院において CT 検査装置等の医療機材を整備することにより、各病院の診断機能強化及び地方部の医療サービスへのアクセス向上を図り、もって地方部の生活改善を通じたブータンの持続可能な経済成長に寄与するもの。

② 事業内容

ア) 施設、機材等の内容：CT 検査装置、X 線撮影装置、超音波診断装置等

イ) コンサルティングサービス/ソフトコンポーネントの内容：協力準備調査にて確認（機材維持管理に係るマニュアル整備等）

ウ) 調達・施工方法：協力準備調査にて確認

③ 他の JICA 事業との関係：無償資金協力「第二次救急車整備計画」（2014 年度、1.72 億円）により、モンガル県及びサルパン県地方中核病院の救急車を更新予定。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制：保健省（Ministry of Health: MoH）

② 他機関との連携・役割分担：特になし。

③ 運営／維持管理体制：MoH は我が国無償資金協力による同様の案件を実施した

経験があり、案件実施能力に問題はないと考えられる。本事業に関係する組織体制、職員数や予算等の詳細については協力準備調査で確認する。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(4) 横断的事項：協力準備調査にて詳細確認する。

(5) ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(6) その他特記事項：特になし。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

対マケドニア旧ユーゴスラビア共和国無償資金協力「第 2 次一次医療機材整備計画」の事後評価（評価年度 2014 年）等では定期的な点検・維持管理計画が確立されていないことにより、一部機材の故障発生が確認されている。

上記教訓を踏まえ、本事業では適切な維持管理が担保されるように機材調達時の研修実施及びマニュアルの整備を検討する。

以 上

[別添資料] 地図

国立病院及び地域中核病院における医療機材整備計画 地図

